

はた もと しゅっせ すご ろく

- 1 -

エントランス展示をご覧ください

本年度6月より図書館1階、中央階段脇で県立文書館展示を行っています。収蔵資料の中から数点ずつ月1回程度の展示替えを行っています。

■表紙解説

お正月の遊びの定番となっている「すごろく」。私たちがよく知っているのは、一定の順路をさいころの目数にしたがって進んだり、戻ったり、止まったりしながら、「上がり」を目指す早さを競うもので、色鮮やかな渦巻き型に描かれた順路の絵がゲームを盛り上げてくれる役目をしています。

そうした一般的なイメージに比べて少々違和感を覚えるような、変わった「すごろく」が上越地域のある旧家の古文書の中から見つかりました。縦84×横74センチの大きな一面いっばいに方眼を切ってそのなかに大小の文字がびっしりと書かれています。題名はありませんが、よく見ると「すごろく」であることが分かります。

文字を追ってみると、上の欄には「御大老」（おんたいろう）、「御老中」（おんろうじゅう）、「溜之間」（たまりのま）などがあり、下の欄には「寺社奉行」、「大御目付」、さらに下へいくと「佐渡御奉行」、「御徒頭」（おんかちがしら）など、江戸幕府の役職名が職階に従って読み取れます。そして、それぞれの役職からどのような役職へ昇進ができるかがさいころの目数とともに併記されています。

すなわち、一番下辺の職にコマを置いてさいころの目数に従って昇進を競うように作られていて、究極が「御大老」ということになって「上がり」というわけです。

役職名や、昇進のルートは実際の江戸幕府の機構に即していますから、これで遊びながら主な役職の上下関係などを知ることができたと思われそうです。ただし、江戸時代は身分と格式による制約がたくさんあったので、「すごろく」のように最下位の職から究極まで昇進を重ねるということはまずありえませんが、夢を楽しむにしても江戸からはるか隔たった一地域でだれもがこれに興じたか、少々疑問です。江戸に住む大名・旗本などの子弟が楽しんだものではないでしょうか。

この「すごろく」はあきらかに手書きされたもので、おそらく旧家の御先祖が何かの用事で江戸へ旅した折に目にして、江戸ならではのものとして興味を持たれたのではないのでしょうか。

いまのところ、県内ではこのような類例はほかに見つかっていないようです。

（原本閲覧可 請求記号：F23-2466）

～越後・佐渡の絵図と旅～ ありがとうございます。

特別企画展 11月10日～15日 6日間・629名の方々からご観覧いただきました。



（賑わった会場）

No.1
（越後輿地全図の一部）

特別企画展で展示紹介した絵図等

		表 題	作成年代	西暦	原 蔵 者 等	請求記号
越後佐渡の絵図	越後	越後輿地全図	(文政7年)	(1824)	中野二三郎氏旧蔵国文学関係刊行物等	E 9312-1-3-1
		越後国郡絵図 (複製)	慶長2年	1597	山形県米沢市上杉博物館所蔵	閲覧室書架
		正保越後国絵図 (複製)	正保年間	1644~47	新潟県市立図書館所蔵	閲覧室書架
	佐渡	佐渡全図	明治9年	1876	佐渡国梅津村市橋家文書	E 9705-650
全国図の作成	中	大日本早見道中記	(幕末)		中野二三郎氏旧蔵国文学関係刊行物等	E 9312-1-11
		大日本道中細見図	明治14年	1881	中野二三郎氏旧蔵国文学関係刊行物等	E 9312-1-22
江戸時代の旅	旅の必需品	往来一札之事 (諸国巡拝)	天保12年	1841	新潟県魚沼郡屋片桐家文書	F 11-69
		送一札 (通行手形)	慶応2年	1866	三島郡野中才村庄屋古澤家文書	E 9320-885
		通行手形 (小千谷民政司)	慶応4年	1868	北魚沼郡芋川村文書	E 0009-112
		浪花講定宿帳	(江戸時代)		中野二三郎氏旧蔵国文学関係刊行物等	E 9312-1-19
		東講商人鑑	安政2年	1855	新潟県立図書館所蔵	-
		祖師聖人旧跡集印帳	文久2年	1862	頸城郡内・岩船郡内・佐渡国内および県外等文書	E 9321-5-271
	親鸞の旧跡巡り	往来一札之事 (親鸞聖人旧跡拝礼)	(江戸時代)		新潟県魚沼郡屋片桐家文書	F 11-70
		二十四輩順拝図会 巻之四	享和3年	1803	中蒲原郡戸頭村谷川家ほか各地文書	F 40-915
		下参りの道中記	安永4年	1775	新潟区市内・東西中南蒲原郡内文書	E 9321-2-202-1
		会津道中記	嘉永4年	1851	新潟区市内・東西中南蒲原郡内文書	E 9321-2-202-2
		三国通・信州道中記	(江戸時代)		新潟区市内・東西中南蒲原郡内文書	E 9321-2-202-3
		※1 越後土産 二編 全	元治元年	1864	中蒲原郡戸頭村谷川家ほか各地文書	F 40-856
	越後からの旅	※2 日本名山図会 (文化年間)	明治36年	1903	越後国各地近世近代文書及び刊行物	E 9903-162
		旅行道中日誌 第二号	明治6年	1873	佐渡国梅津村市橋家文書	E 9705-601
		従西京東京宿附	明治6年	1873	佐渡国梅津村市橋家文書	E 9705-602
	明治時代の旅	敬神 (集印帳)	(大正以降)		北魚沼郡小千谷町西脇 (西義) 家文書	F 74-1425-1
		崇仏 (集印帳)	(大正以降)		北魚沼郡小千谷町西脇 (西義) 家文書	F 74-1425-2
		敬神 (集印帳)	(昭和15年以降)		北魚沼郡小千谷町西脇 (西義) 家文書	F 74-1426
		畏神 (集印帳)	(昭和18年)	(1943)	北魚沼郡小千谷町西脇 (西義) 家文書	F 74-1427
	※3	新潟県内観光案内図	(昭和40年代)		南魚沼郡六日町医家平賀家文書	E 9501-869
		新潟案内	(昭和4年)	(1929)	「新潟市産業要覧」・「新潟案内」・「新潟市勢一覽」	E 0014-2
	※4	魚沼鉄道名勝案内	明治44年	1911	渡辺越夫氏旧蔵刊行物等	E 9112-979
		各地名所図会 (52景)	明治31年	1898	北魚沼郡小千谷町西脇 (西義) 家文書	F 74-1268
	彩名勝地	東京名勝図会 (20景)	明治35年	1902	北魚沼郡小千谷町西脇 (西義) 家文書	F 74-1269
		改正新案最新京都地図	大正3年	1914	中蒲原郡上新田名主渡邊家文書	F 8-3-279
名勝案内	京都	改正新案最新京都地図	明治44年	1911	中頸城郡田村組大庄屋笠原家文書	F 18-1904-15
		改正大阪市明良新地図	大正3年	1914	中蒲原郡上新田名主渡邊家文書	F 8-3-280
	大阪鎌倉奈良日光	相模国鎌倉全図	明治32年	1899	中頸城郡田村組大庄屋笠原家文書	F 18-1904-13
		奈良明細全図	明治23年	1890	中頸城郡田村組大庄屋笠原家文書	F 18-1904-17
	日光	日光御山之絵図	(江戸時代)		越後国各地近世近代文書及び刊行物	E 9903-185

※1 越後観光案内 ※2 日本名山選 ※3 いがた観光案内 ※4 鉄道の旅案内
複製物及び「東講商人鑑」以外は原則としていつでも原本閲覧ができます。ただし、「越後輿地全図」は事前に御相談下さい。

新たに閲覧可能となった文書等 (21.4 ~)

	請求番号	年 代	点 数	備 考
複製	(県報)	新潟県治報知・県公報・県報	昭和13 ~ 同16	56分冊
受贈 受託 等	E 0807	東蒲原郡九島村江川家旧蔵文書	(天保15) ~ 大正9	9
	E 0808	第1回国勢調査関係刊行物ほか	大正9 ~ 同14	8
	E 0809	治山課治山事業写真帳	大正10 ~ 昭和27	7
	E 0901	新潟県教育会発行「学びの友」綴	昭和8 ~ 同11	1
	E 0902	明治30年代与板地域警察署関係文書	明治16 ~ 同33	5
	F 90	西蒲原郡上泉村多賀家文書	宝暦4 ~ 昭和12	16
	E 8004	俳書『みなしろたへ』『けふの雪集』	延享4 ~ 文政8	2 ※

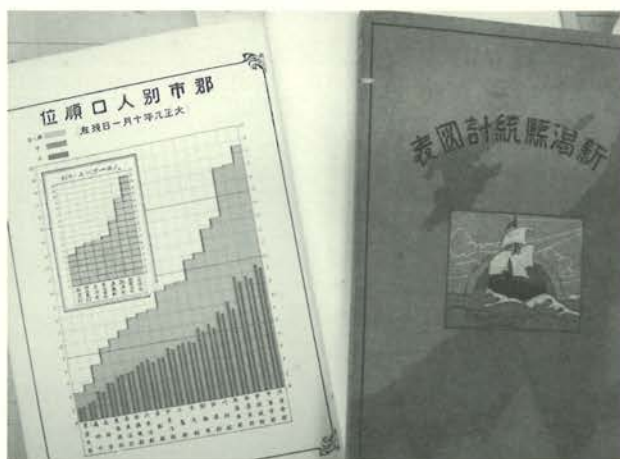
※の文書は第11号に掲載済。太字の文書は次ページに解説があります。

●第1回国勢調査関係刊行物ほか 8点

大正9年（1920）年～同14（1925）年

大正9年10月1日に実施された第1回国勢調査の結果のもとに発行された刊行物及び調査票。国勢調査の概要や当時の新潟県の統計を知ることができるのはもちろんですが、記念録には、県内の国勢調査員の写真入りの名簿があり、各地域のさまざまな有力者が調査にたずさわっていたことがわかります。また、国民が実際に記入する申告書はふりがな付きのわかりやすい文章で書かれており、国勢調査普及のための努力がうかがえます。

平成20年度受贈。閲覧は原本のみ。（請求番号E0808）



●新潟県教育会発行「学びの友」綴（第1～3学年用） 1点

昭和8（1933）年～同11（1936）年

新潟県教育会から発行された週刊誌で昭和8年度の1年生用・昭和9年度2年生用・昭和10年度の3年生用がほぼ欠号のない状態で残っています。新潟県教育会は明治15年に発足し、「越佐教育雑誌」の発行などを行っていましたが、昭和8年に小学生向けの読み物として「学びの友」を刊行しました。当時の小学生の考え方や時勢を知る上で好資料といえます。

平成21年度受贈。閲覧は原本のみ。（請求番号E0901）



●俳書『みなしろたへ（皆白妙）』 俳書『けふの雪集』 2件2点

延享4（1747）～文政8（1825）年

- ・『みなしろたへ』延享4（1747）年。俳書。寒蓼堂、乱雪、雪中庵、蓼太郎の共著。乱雪は服部嵐雪（はっとりらんせつ）で蕉門十哲の一人。雪門の祖。蓼太郎は大島蓼太（おおしまりょうた）で嵐雪の門人。序文は蓼太。本書の構成は嵐雪と蓼太の句数36からなる歌仙と、門人たちの句を収集した春之部、夏之部、秋之部、冬之部そして再び嵐雪と蓼太の歌仙となっています。収句地域としては遠州（静岡県西部）、信州（長野県）、上総（千葉県）、出羽（山形・秋田両県）、駿州（静岡県中央部）など関東甲信、東北の地域が主になっています。なお、新潟県に関する俳人として、蓼太の門人である十日町の根津桃路が挙げられます。
- ・『けふの雪集』文政8（1825）年。俳書。「麦中舎追善」と題した、高橋欣雨の追善句集。藍田居撰。序文に「鳳住山東林艘（そう）識」とあります。鳳住山は旧小国町桐沢（現長岡市）の曹洞宗桐盛院で、東林はその16世代目嚙山東林と思われます。内容的には越後俳諧史において最も影響を与えた各務支考（かがみしこう）らの属したいわゆる「美濃派」の流れをくむものとみられます。収集された句は新潟県内の地域名が散見していて、本書は県内における美濃派が庶民に広く浸透し、一俳諧文化を築いていたことがうかがえ大変興味深いです。

平成20年度受贈。閲覧は原本のみ。（請求記号：E08-04）

●東蒲原郡九島村江川家旧蔵文書 現阿賀町九島（旧上川村） 9点

天保15（1844）年～大正9（1920）年

巻子1点、刊本8点（うち複製1点）。断片的な資料ですが、旧蔵家の由来を知ることができるものもあります。

平成20年度受贈。閲覧は原本のみ。（請求番号E0807）

●治山課治山事業写真集 7点

大正10年（1921）年～昭和27（1952）年

新潟県農林水産部治山課が作成した写真集で、水害・雪害など生々しい被害状況や復旧工事の様子をうかがい知ることができます。災害写真のほかにも、土居章平知事の銀山平視察（昭和17年）など貴重な資料も残っています。一部変色しているものもありますが保存状態も良好です。

平成20年度受贈。閲覧は原本のみ。（請求番号E0809）

編集・発行 新潟県立文書館

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号
TEL. 025-284-6011 FAX. 025-284-8737
URL. <http://www.lalanet.gr.jp/npa/>
E-mail. archives@mail.lalanet.gr.jp